



明日のビジネスに活かすロボット 技術を学ぶ研究会

＜全3回開催＞

ロボットが活躍する時代がやってきた ～賢いロボットの利用・活用技術～

主催：公益財団法人科学技術交流財団 協力：学校法人名城大学

“ものづくり愛知”では「世界に誇るロボット産業拠点」を目標にしており、製造生産部門で始まったAIやIoTを駆使したロボット技術は、今や生活空間、医療空間にも広まり、福祉介護ロボット、住宅ロボット及び医療用ロボット等あらゆる分野での活用が期待されています。

そこで、本研究会では全3回にわたって、分野ごとの現状について、デモを交えて紹介するとともに、現在抱える課題も含めたこれからの賢いロボットの利用・活用技術に関して、産学研究者から最新の情報を提供します。

本研究会がロボット技術の最前線に触れて頂く場になるとともに、新たなロボットの活躍の場を見つけて頂くそのキッカケの一助となり、さらには、異業種間での交流、産学官での情報の共有・交換の場となることを期待しております。

＜第1回＞

日時：平成29年6月7日（水）
13:30～17:00

場所：名城大学 天白キャンパス
タワー75（右図）15階15号ホール
名古屋市天白区塩釜口1-501
電話 052-838-2036（学術研究支援センター）



＜プログラム＞

- 13:30～13:35 主催者挨拶等
- 13:35～13:50 「ロボット産業拠点の形成を目指す愛知県の取組」
講師：愛知県産業労働部 産業振興課 次世代産業室
次世代産業第二グループ 主任主査 都筑 秀典 氏
- 13:50～14:50 名城大学 理工学部 研究室見学（辰野 研究室/市川 研究室/大原 研究室）
- 14:50～15:00 休憩
- 15:00～16:00 「自動搬送システムとメカトロニクス要素技術」
講師：名城大学 理工学部 メカトロニクス工学科 芦澤 怜史 助教

工場内で利用される自動搬送システムの無軌道化を実現するためのシステムアーキテクチャや、高信頼性に走行するためのシステム設計とそれを構成する要素技術について事例を交えて紹介します。また、メカトロニクス要素技術として工場で利用可能な真空吸着の原理を利用した汎用性の高い吸着パッドの研究開発について紹介します。

- 16:00～17:00 「ティーチング不要なロボットの展開に向けて」
講師：富士機械製造株式会社 開発センター SWプロジェクト
プロジェクトリーダー 藤田 政利 氏

ロボットによる自動化を進めるにあたり、ティーチング作業の煩わしさが問題となっている状況を踏まえ、既存事業の実装ロボット開発の技術を活かし、カメラシステムを搭載した生産立上げや多品種生産が簡単な新しい多関節ロボットの技術を紹介します。

- 17:00～18:00 希望者のみ、併設のラウンジにて交流会